シラバス確認方法



シラバスとは(1/7)

◇シラバスとは

シラバスは、授業担当者とのコミュニケーションツールであり、 履修を希望する授業科目の「目的」・「内容」・「計画」・「成績評 価方法」等を確認することができます。

授業を選ぶ際の重要情報となりますので、履修登録をする前に、各科目のシラバスの内容を確認し、しっかりと学習計画を立てるようにしてください。



シラバスシステムへのログイン方法(2/7)

【入学前】※関西大学HPよりログイン

関西大学HPの「メニュー」をクリック





シラバスシステムへのログイン方法(3/7)

「各種情報検索システム(研究者・論文・シラバス)」の中にある 「シラバスシステム」をクリック





シラバスシステムへのログイン方法(4/7)

【入学後(ID・パスワード配布後)】※インフォメーションシステムよりログイン

インフォメーションシステムヘログイン後、 左側メニュー「教務情報」の中にある「シラバス検索」をクリック

	要 関西大学 KANSAL UNIVERSITY		教務情報	
	th.	۵ポーム		
	G ログアウト	■ 屋悠 · 武殿 · 成装圆纸	□ 授賞・最修・試験・学繕力テゴリのお知らせ	☆ すべて表示
	⊼ −Ь	& WEB履修 ゆ シラバス検索	A BEFROERAHIROEHA	
	新入生向出情報	∂ 抽道登録・確認等		
\subset	教習情報	 · 授業アンケート · 学生調査フィードバック 	■ 履修・試験・広顧関係	
	学内サービス・リンク集	∂ 試験システム		
	お知らせ一覧表示	♂ 抗規模会 ♂ 学術カルテ	@ シラバス検索	
	\sim	 ● 授用現価 ● 脱大UMS 		
		& OpenCEAS		
		⊘ 欠席屆		
				-
		∂ 文章の書き方相談予約	★学委覧・大学読委覧	
			♂ 大字院・専門職大字院要見	
				4
L		大寺 4-660 大阪府 牧田市 山手町 3丁目 3番 35号 (06) 636-1121 (大代教)		KnowledgePortal/Web 1.1.0.0 2021/03/09 Release Copyright © KANISAI UNIVERSITY All rights reserved. ライセンス開催



シラバス確認方法(5/7)

検索方法を選択したら、科目の情報を入力し、

「検索」をクリック

IN シラバス検索/Syllabus Search

などで検索が可能です。

カリキュラム、科目名、教員名

2022 🗸 年度の講義要項のデータベースを検索します(科目検索、キーワード検索のみ過去5年検索可。その他の検索機能は当該年度のみ。)/Course Year

✓ カリキュラム検索 / Search by Curriculum Table		逾 ₹	斗目検索 Search by Subject Name	▲ 教員検索 / Search by Ir	R nstructor Name	ままー」 / Search	ワード検索 ^{ı by Keywords}
カリキュラム科目を衣示します。 週去年度のンラハスは『科目快楽』『キーワート快楽』より快楽でさます。							
入学年度 /Admission Year	学部・大学院・専門 /Faculty Graduate Schools Professional Graduate Schoo	職 lls	学部・研究科 /Faculty Graduate Schools	学部・専攻 /Department Majored Courses	専修・コー /Major Course	·ス	コース /Course
2022 ~	学部	~	· v	v		~	v
Q 検索/Search							



シラバス確認方法(6/7)

履修登録する科目のシラバスは必ず確認してください!!

III シラバス検索/Syllabus Search								
2022 年度の講義概要のデータベースを検索します。								
学部・研究科 Faculty/Graduate Schoo	シ/環/化	時間割コード Course Code	60762					
科目名 Course title サブテーマ Subtitle	地球の科学	授業形態/単位 Term/Credits クラス Class	春/2 A					
担任者名 Instructor	荒木 繁幸	曜限 Day/Period	水5					
	授業種別 / Teaching Types		-					
	講義 (対面型)							
	言語 / Language		\frown					
	日本語(Japanese)							
	授業概要 / Course Description							
授業概要 Course Description 到達目標 Course Objective	この講義では地球科学の基礎を中心にして、地球の成り立ちを きていく上で必要なめぐみを提供してくれるが、時には甚大な は2030年までに達成すべき目標として「持続可能な開発目標 る取り組みが多く取り上げられ、人間にとって地球がかけがう は、地球環境をより深く理解することにも繋がります。 地球は巨大な熱機関であり、そのため大陸が移動したり、山 講義は地球のしくみを学習すると同時に、それによって生じる とを期待する。 到這目標 / Course Objectives ①知識・技能の観点 私たちの生活する地球のしくみを学習し、そこから発生する批 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 地球上に発生する災害に対する判断力やより良い地球環境を受 ③主体的な態度の観点 地球上で発生する災害をよく理解し、自分の命は自分で守る そして、地球環境をよく理解し、人類として自分が何をなすか 授業手法 / Teaching Methods ・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバッグ	注 説明するとと シラ かのないもの いまので からも	がスは「WEB履修」画面 5確認が可能です。 EDは、「WEB履修登録関 作マニュアル集」を確認 ださい。					
授業計画 Course Content	授業計画 / Course Content 第1回 ガイダンスと地球科学入門:地球科学の概要を述べると 第2回 地球内部構造とブレートテクトニクス:地球の内部構造 第3回 ブレートテクトニクス:大陸移動がなぜ起こるのか、地 第4回 ブレームテクトニクス:大陸移動がなぜ起こるのか、地 第5回 地球の歴史(1):地球誕生から生物誕生、地球地場語 第6回 地球の歴史(2):生物大量絶滅や恐酷絶滅の歴史につ 第7回 地球の歴史(2):新生代の生物と人類誕生の歴史につ 第8回 日本列島の誕生:日本列島はどうやって現在の形になっ 第9回 マグマと火山:富士山などの火山の成り立ちや、火山流 第11回 断層と地震(1):地震発生のメカニズムや地震の特 第11回 断層と地震(2):日本に発生する地震について学ぶ、 いても考える。 第12回 岩石の種類や身近な地形:岩石の成り立ちやその種類 第13回 地球の調べ方:地球のしくみや歴史を調べる手法につ 第14回 地球表面のシステム:地球表面のさまざまなしくみを 第15回 まとめと到達度試験	ととも 達を理た 13諸初 地球内部 延生の歴史 いて学ぶ。 いて学ぶ。 いて学ぶ。 いて学ぶ。 でたのか。今も日本 5動について学ぶ。 長について学ぶ。 東日本 について学ぶ。また、身近な地 いて理解する。また、身近な地 学ぶと共に、世界の美しい風景	今々 形の成り立ち 違を調べる手法に、こも学ぶ。 に触れその成因についても考える。					



シラバス確認方法(7/7)

III シラバス検索/Syllabus Search							
2022 年度の講義概要のデータベースを検索します。							
学部 - 研究科 Faculty/Graduate Schoo	ool シ/環/化		時間割コード Course Code	60762			
科目名 Course title サブテーマ Subtitle	地球の科学		授業形態/単位 Term/Credits クラス Class	春/2 A			
担任者名 Instructor	荒木 繁幸		曜限 Day/Period	水5			
	授業種別 / Teaching Types 講義 (対面型) 言語 / Longuage 日本語(Japanese) 授業概要 / Course Descretion						
授業概要 Course Description 列達目標 Course Objective	この講義では地球科学の基礎 さていく上で必要なめぐみを指 は2030年までに達成すべき目着 る取り組みが多く取り上げられ、 は、地球環境をより深く理解する 地球は巨大な熱機関であり、その 講義は地球のしくみを学習すると同 とを期待する。 到達目標 / Course Objectives	各科E は、シラ	目の実施形態 バス内「授業	(対面授業または遠隔授) 種別」欄で確認してくださ(業 _※) い。		
	①知識・技能の観点 私たちの生活する地球のしくみを学習し ②思考力・判断力・表現力等の能力の観 地球上に発生する災害に対する判断力や ③主体的な服度の観点 地球上で発生する災害をよく理解し、自 そして、地球環境をよく理解し、人類と 授業手法 / Teaching Methods 、数目による資料等を用いた説明や課題	※ <u>「遠隔</u> 要な」	<u>授業」により</u> 単位のうち <mark>60</mark>	<u>修得する単位数は、卒業1</u> <mark>単位</mark> を超えないものとしま	<u>こ必</u> :す。		
	第1回 ガイダンスと地球科学入門:地球 第2回 地球内部構造とプレートテクト二 第3回 プレートテクトニクス:大陸移動 第4回 ブルームテクトニクス:大陸移動 第5回 地球の歴史(1):地球誕生から 第6回 地球の歴史(2):生物大量絶滅 第7回 地球の歴史(3):新生代の生物」 第8回 日本列島の誕生:日本列島はどうや 第9回 マグマと火山:富上山などの火山の 第110回 断層と地震(1):地震発生のメ 第110回 断層と地震(2):日本に発生する いても考える。 第112回 岩石の種類や身近な地形:岩石の 第113回 地球の調べ方:地球のしくみや歴 第14回 地球表面のシステム:地球表面の 第114回 地球表面のシステム:地球表面の	っって現在の形になっ 成り立ちや、火山沿 カニズムや地震の特 51地震について学ぶ。 成り立ちやその種類 史を調べる手法につ さまざまなしくみを	ったのか。今ち日本列島は変化し 話動について学ぶ。 長について理解する。 。阪神淡路大震災・東日本大震 について学ぶ。また、身近な地 いて理解する。また、身近な地 学ぶと共に、世界の美しい風暴	していることを学ぶ 災や、今後、発生する可能性の高い南海・東南海地震につ 形の成り立ちや、その災害についても考える 強を調べる手法についても学ぶ。 に触れその成因についても考える。			

